

金子兜太先生のふるさと投句 第二回特選・入選作品

選者 秩父郡市俳句連盟会長 金子 千侍先生

特選

慈母観音乳房の嬰を包む秋

さいたま市 宮崎 美智子

講評

秋の秩父札所四番霊場金昌寺にて、慈母観音像を拝観して詠まれた作品。慈愛に満ちた母の手の中で、嬰は母の乳房に甘えているのです。実りの秋、豊かな秋、青く澄んだ秋。この美しい秋が、暖かい母子の像を、そっと包んでいるのです。

秩父路や赤ペチャクチャと曼珠沙華 群馬県邑楽町 金子 睦子

講評

句の上五に「秩父路や」と詠まれると、秩父の路々を含めた秩父全域の情景が設定されます。秩父札所の巡礼径、山々を登る棚田の畔。小川辺り、峠路、墓地の中にも、曼珠沙華が沢山咲きまです。群れていると素足の妖しいダンサーのように、またペチャクチャと大騒ぎしているように。もう秩父全体が、ま赤赤です。秋の秩父を詠まれた名句。

鴟啼いて山のでつぺんまで畑

さいたま市 増田 信雄

講評

秩父は山々に囲まれた小さな盆地。孫文が感嘆した言葉「耕して天に到る」のように、畑や棚田は山の傾斜を耕して頂まで登ります。さてこの収穫の秋、小さな猛禽の鴟の鋭い高啼きは、山の天辺まで耕作する農民の強靱な意志と、努力に、「頑張れ、頑張れ」と一生懸命応援しているようです。

入選

大人の部

秩父路は祈りの道よ秋桜

茨城県土浦市 宍戸 千代

爪彫りの磨崖仏なり冬ざるる

狭山市 大澤 静子

紅葉の美の山に来てリラックス

所沢市 関口 静子

円明寺与太という句碑霜に建ち

皆野町 原 和幸

読む句碑の太字染めゆく秋の雨

長瀨町 大前 英俊

色鳥来腹ふくよかな石仁王

川越市 郷 文枝

鳥除けの笹にかくれる冬野菜

長瀨町 野口 正士

夜祭や果てて盆地は冬ごもり

皆野町 中村 つね子

兜太の句の子が出て来さう秋暑し

秩父市 都沢 美江子

腹を出す句碑に寄り添う水引草

秩父市 町田 ヨウ子

小人の部

秋の山パレットみたいできれいな

千葉県柏市 鈴木 みのり(十歳)

山々の緑かきわけ三峰へ

秩父市 強矢 将希(十七歳)

秋近し赤とんぼがつえの先

深谷市 浜田 弘樹(十一歳)

いつ来てもきれいだね美の山

さいたま市 林 隆羽(十二歳)

秩父の湯入ってみればくらべるものなし

川口市 鈴木 渚(十歳)